



可視性の力を手に入れましょう

最新のアイデンティティファーストのセキュリティ戦略を使って、リアルタイムであらゆる脅威を確認し、攻撃を阻止する方法とは



ビジネスが成長し、変化するとき、リスクプロファイルも増加します。



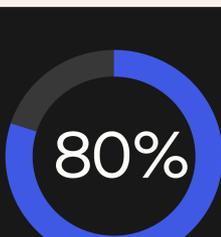
ビジネスが転換期を迎え、成長を遂げる時、技術スタックも同様に進化する必要があります。しかし、多くのITチームとセキュリティチームは置き去りにされ、変化に追いつくのに苦労しています。



これにより、リソースとアイデンティティが分散する、断片化したIT環境が発生します。

その結果、可視性が損なわれ、深刻な損害を招く侵害のリスクが高まります。

攻撃者はチャンスを見つけ次第、それと認識するので、アイデンティティは彼らにとって最も主要な攻撃手段となっています。



データ侵害の80%は、認証情報の盗難やフィッシング攻撃から始まっています。

(Verizon)

さらに、多くの組織は脅威に対抗するための装備が不十分です。



180%

アイデンティティ関連の攻撃は、前年比180%の割合で増加しています。

(Okta)



290日

組織が侵害を封じ込めるまでにかかる時間は、平均290日です。

(Verizon)



480万ドル

2024年のデータ侵害のコストは、平均488万ドルでした。

(IBM)

アイデンティティの断片化は、組織の最大の脆弱性がどこにあるかを特定できなくし、組織を危険にさらします。

- ⊗ 脅威検知と対応の遅れ
- ⊗ 処理しきれない無秩序なリスクデータ
- ⊗ 非常に複雑な脅威情勢における制御不可能なリスク

質問：

現代の組織がアイデンティティの断片化リスクを排除する方法とは？

回答：

アイデンティティ主導のセキュリティに向けた統合的なアプローチが必要です。

Oktaで実現

Oktaはアイデンティティオーケストレーションにより、IT、セキュリティ、顧客環境全体におけるシグナルやポリシー、ユーザーアクティビティの可視性を強化し、プロアクティブな脅威検出と対応能力を提供します。

Identity Threat Protection with Okta AI

あらゆるタイプのアイデンティティ脅威に対する自動化主導の対応

すべてのシステム、デバイス、ユーザータイプで生成されたリスクシグナルを統合して優先順位を付けることで、プロアクティブなセキュリティ態勢を確保

サードパーティとファーストパーティの両方のシグナルを活用し、不審なアクティビティと侵害された認証情報をリアルタイムで検出して対処

MFAのトリガーや侵害されたユーザーのログアウトといった、カスタマイズ可能な自動アクションで、脅威のダメージを迅速に軽減

Okta FastPass

パスワードレスでフィッシング耐性のある認証により、シームレスかつ安全なユーザーエクスペリエンスを提供

認証時にデバイスのセキュリティ態勢を検証し、コンプライアンスを徹底

ユーザーと管理者にフィッシング試行を警告し、攻撃をログに記録して可視性を高める

認証プロセスが悪用される前に、信頼できないアプリをブロック

Oktaアイデンティティセキュリティ態勢管理

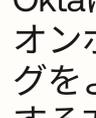
組織全体でアイデンティティセキュリティの盲点を完全に可視化

組織全体でアイデンティティの盲点を完全に可視化

MFAバイパスや管理者の無計画な増加、部分的にしかオフボーディングされていないユーザーといった重大な脆弱性を検出

非人間アイデンティティ (NHI) を監視し、ローテーションされていないAPIキーや過剰な特権を持つサービスアカウントといったリスクを特定

Oktaはアプリのオンボーディングをより安全にする方法を提供



アイデンティティの可視性は、アプリのオンボーディングなど、アクセスにおけるあらゆる段階を保護する鍵となります。Oktaでは、ユーザーのアクティビティとリスクシグナルに関するリアルタイムのインサイトが得られ、わずか5つのステップで新しいアプリをシームレスかつ安全に統合できます。

- 1 新規ユーザーに対して、初日から適切なアクセス許可を保証
- 2 一元化された単一プラットフォームから、エンドユーザーアクセスに変更を加える
- 3 人事ソフトウェアや顧客ディレクトリと統合して、統一されたID管理を実現
- 4 従業員が退職した際に、自動的にアクセスを削除
- 5 顧客アカウントを、顧客のアクティビティに基づいて最新の安全なアクセスにより管理

最新のアイデンティティソリューションでセキュリティ戦略を統合する方法について、もっと学んでみませんか

弊社チームにご連絡いただき、Oktaプラットフォームの実際の使用例をご覧ください。

見積もりなどのお問い合わせ

